#### I. 本シートの作成経緯

富山県作業療法士会の運転と作業療法委員会は、県内の作業療法士の運転再開支援の知識・技術の向上、 自動車教習所や公安委員会との連携構築を目的に、2018年2月から活動を開始しています。

2019年に自動車教習所との連携に関する実態調査として、県内の作業療法士を対象にアンケートを実施しました(期間:11月5日~30日)。その結果、①脳損傷者に対する運転再開支援の内容(評価内容など)は病院・施設によってバラつきがある、②ゴールドスタンダードとして位置づけられている実車評価を実施できていない病院・施設が多い、③自動車教習所との連携の取り方や、自動車教習所で行っている内容がわからない等、複数の課題を抽出できました。

当委員会では、富山自動車学校の校長とも共同し、これらの解決策として「病院 – 教習所間連携シート (脳損傷者用)」の作成を開始し、富山リハビリテーション病院・こども支援センターの吉野医師の助言も受け、2020 年度に完成に至りました。

# Ⅱ. 本シートの目的

病院の評価結果と自動車教習所の評価結果の「見える化」、自動車教習所との連携を図ること。

# Ⅲ.本シートを使用するメリット

- ●シート内で、病院における医学的な評価と、自動車教習所における技能評価を合わせて見ることができるため、その方の自動車運転能力を包括的に捉えることができます。
  - →医師や公安員会との情報共有や提供しやすくなります。
- ●神経心理学的検査やシミュレーター機器が不十分な病院や施設でも、自動車教習所での評価を利用することで、認知機能や技能評価の不足を補えます。
- ●教習所と連携を取ったことがない病院・施設でも、実車評価などの依頼しやすくなります。

# IV.本シートの概要

A4 サイズ 3 枚構成です。1~2 枚目は医療機関が患者の基本情報や運転情報、評価内容を記載します。 3 枚目は自動車教習所が評価内容の結果を記載します。

#### V. 本シートの対象者

運転再開を希望する脳損傷者(脳卒中、頭部外傷等)

#### VI. 本シートの対象教習所

学校法人 富山自動車学園の 6 校(下記)は、本シートの利用にあたり賛同を得ています。

- ·入善自動車学校 ·黒部自動車学校 ·滑川自動車学校
- ·富山自動車学校 · 砺波自動車学校 · 高岡自動車学校
- ※6 校以外の自動車教習所では本シートは使用できません。

## Ⅷ. 本シートの運用方法

- ①各所属先で医学的な運転の評価(神経心理学的評価やシミュレータなど)を行う。
- ②主治医と相談し、自動車教習所での評価の必要性を検討する。 ⇒「必要性あり」の場合③へ進む。
- ③患者に、本シートにて個人情報を教習所に提供することや、教習所での評価は自費負担になることを説明し、同意を得る。 ⇒「本人・家族が同意した」場合④へ進む。
- ④富山県作業療法士会のホームページから、本シートを入手する。本シートの1~2枚目に、実施できた項目のみ記入する。全項目埋まらなくても問題はない。記入者は、医師でも OT でもよいが、<u>最後は担当医</u>師の自署が必要。
- ⑤対象教習所に電話で連絡する(基本的に担当 OT が行うことが望ましい)。 → 下記のIXを必読願います。 本シートの情報を伝え、教習所で行う評価を選択、実施日時、使用車種について打ち合わせをする。 対象者の障害特性や、実車評価の目的、予測される運転への影響等の情報をわかりやすく伝える。
  - ※節度ある態度で自動車学校と連携を図ってください(OTの信頼を損ねないよう配慮をお願いします)。
    - ●教習所での評価内容(種類):(1)視力検査及びシミュレーター検査(60分)

(2)場内コースの実車評価(60分)

(3)路上コースの実車評価(60分)

各々 10000円程度 ※教習所に確認下さい。

、 ※OT 同乗は各所属先の意向に従う。

路上コースは、場内コース合格した場合に可能。 免許証の有効期限内のみ可能。

- ⑥患者が教習所で評価を受ける。本シートの3枚目を自動車教習所が記載する。
- ⑦教習所で記載してもらった評価結果は患者に持って帰ってきてもらう。医師や OT と情報共有する。必要に応じ、医師が診断書を作成する一助にしてもらう。本シートは、各所属先で保管する。

## Ⅷ. 本シートの入手方法

※各所属先で本シートの使用許可を得てからご利用ください。

富山県作業療法士会のホームページ(https://toyama-ot.org)  $\rightarrow$  SUB MENU の「生活支援推進局」  $\rightarrow$  「運転と作業療法委員会」から本シートをダウンロードできます。ただし、本シートのダウンロードには、 Google フォーム(https://forms.gle/RGcrL218FyPrbzHR9) 入力後に表示されるパスワードが必要です。

<Google フォームの入力項目>

- ・氏名 ・メールアドレス ・所属先 ・職種 ・経験年数
- ·使用予定の教習所 ·使用予定年月



<本シートダウンロード用 Google フォーム>

- ※これらの手続きは、本シートの運用状況を把握するために設けています。基本的には使用する毎に、ダウンロードして頂きたく思います。ただし、各所属先で使用状況(使用者、使用時期)を把握し、県士会からの情報開示の依頼に従えるのであれば、複写での運用も可能とします。
- ※本シートは富山県作業療法士会の許可なく複製・改変することを禁止しています。

=「© 富山県作業療法士会 2021」

# IX.対象教習所への伝え方および実車評価における注意点

- ●教習所への伝え方
  - (1)高次脳機能障害者(一般車両)で、本シートを使用し実車評価を依頼する場合:
    - →「高次脳機能障害者の実車評価に準じた評価をしてもらいたい」と伝える。
- (2) 高次脳機能障害+身体障害(片麻痺等で左アクセルなどの補助器具付き車両)で、本シートを使用し 実車評価を依頼する場合:
  - →「身体障害者の補助器具を付けた運転に関しては、高次脳機能障害者の実車評価に準じた評価を してもらいたい」と伝える。

※補助器具つき車両は、6校中で富山自動車学校にしかない。そのため、補助器具車両が必要な 場合、富山自動車学校への依頼が良いと思われる。他の5校は、すぐに対応できないことをご理 解下さい。

## ●実車評価における注意点

自動車教習所では、「身体障害者の補助器具つき車両での運転練習」=「ペーパードライバー講習」の認 識が強いそうです。そのため、本シートを使用した実車評価を依頼する場合は、各実車評価の違いを理 解したうえで依頼をお願いします。

ペーパードライバー講習・・・場内コースで実車は行うが、指導員が評価を口頭で行うもので、統一的な 評価および評価表の交付なし。金額は5500円程度。いわゆる運転練習と 捉える。

体シートを用いた実車評価・・・評価表に記載された細かな項目について評価し、評価表を作成し交付 する。金額は、約10000円。

> ※脳損傷者で高次脳機能障害を有した方、評価目的に行う方で評価表 の交付が欲しい方に対して本シートを活用するのが良いと思われます。 ※補助器具車両を必要とする方は、車両貸出料として、約5000円追 加になる場合があります。教習所に事前確認して下さい。